

2010年度

科目名	文化財科学 I (分析科学)		
担当教員	三辻 利一		
配当	文財1	コード	53610
開期	前期	講時	金曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	歴史研究における考古学、自然科学、文献史学の役割		
目的と概要	考古学とは遺跡・遺物を通して過去を再現する学問であるが、考古学は形式論が中心となる。他方、遺物は物体である。自然科学の方法による研究も受ける。しかし、遺跡・遺物としての研究だけでは過去を豊かに再現することはできない。どうしても、文献に書かれた記述が必要になる。本講義では考古学、考古科学の出した結果を如何にして文献を生かして過去を再現するかについて理解することを目的としている。		
成績評価法	数回にわたるレポートを通して採点する。		
テキスト	使用しません。しかし、講義の都度、資料を配布する。		
参考書	必要に応じて紹介します。		
履修に当たっての注意・助言	多くの参考書を読んで欲しい。		
講義計画			
第1回	文化財科学とは何か		
第2回	古代エジプト文明 (1)		
第3回	古代エジプト文明 (2)		
第4回	メソポタミア文明 (1)		
第5回	メソポタミア文明 (2)		
第6回	古代中国文明 (1)		
第7回	古代中国文明 (2)		
第8回	日本の古代と考古学、自然科学		
第9回	魏志倭人伝を読む		
第10回	宋書倭国伝を読む		
第11回	随書倭国伝、日本書紀を読む		
第12回	倭の五王と須恵器生産		
第13回	遣唐使		
第14回	古代東アジアにおける日本 (歴史研究におけるポテンシャル論)		
第15回	まとめ		